

## チョウ目害虫抵抗性ダイズ MON87701 系統と除草剤グリホサート耐性ダイズ MON89788 系統を掛け合わせた品種に係る食品健康影響評価について

### 1. 経緯

遺伝子組換えダイズ「チョウ目害虫抵抗性ダイズ MON87701 系統と除草剤グリホサート耐性ダイズ MON89788 系統を掛け合わせた品種」については平成 23 年 4 月 6 日付けで遺伝子組換え食品の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

### 2. 評価依頼品種の概要

本品種は以下の表の既に安全性審査を経ている遺伝子組換えダイズを伝統的な育種の手法を用いて掛け合わせたものである。

項目	概要	
品 種	チョウ目害虫抵抗性ダイズ MON87701 系統	除草剤グリホサート耐性ダイズ MON89788 系統
製品の概要	改変 <i>cry1Ac</i> 遺伝子の導入によって <i>Cry1Ac</i> タンパク質が発現し、チョウ目害虫 ( <i>Anticarsia gemmatalis</i> 等) 抵抗性を示す。	改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子の導入によって改変 CP4 EPSPS タンパク質が発現し、除草剤グリホサート耐性を示す。
宿 主	ダイズ ( <i>Glycine max</i> L.)	
挿入遺伝子 (供与体)	改変 <i>cry1Ac</i> 遺伝子 ( <i>Bacillus thuringiensis</i> subsp. <i>kurstaki</i> 由来)	改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子 ( <i>Agrobacterium</i> sp. CP4 由来)
選抜マーカー (供与体)	改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子 ( <i>Agrobacterium</i> sp. CP4 由来)	使用していない
新たに獲得された性質	チョウ目害虫抵抗性	除草剤グリホサート耐性
安全性審査を経た旨の公表 (官報告示日)	2011 年 3 月 18 日	2007 年 11 月 12 日

### 3. 利用目的および利用方法

本品種の食品としての利用目的や利用方法は、従来のダイズと相違はない。